

市では、市民との意見交換会などを実施し、今年3月1日から新しいバス運行の実証運行を開始しました。今後は、平成24年度までを実証運行期間として、利用実態調査や市民意見交換会などを行い、より利便性や効率性を高めていく予定です。

そこで今号では、バスの利用方法の紹介や、さまざまな企画についてお知らせします。



教えて！バスのQ&A

Q どんなバスがあるの？新しく運行を始めたまちなみバスってどんなバス？

市内のバスは3つに区分され、特徴は次のとおりです。

①地域バス(のらマイカー)

高山地域内の東西南北線や岩滝線、支所地域内を運行するのらマイカーは、各地域内の公共施設、診療所、店舗などを回ります。また、主要なバス停で幹線バスと接続します。

②中心市街地バス(まちなみバス)

まちなみバスは、右・左回りのバスで、午前7時30分から午後6時30分まで1日各12便、高山の中心部を1周40分程度で巡回します。

③幹線バス

濃飛バスが運行しています。各支所地域と高山中心部を結び、通院、通学、通勤、買物などの移動を確保します。

Q のらマイカーと幹線バスの乗り継ぎは大丈夫？遅れて乗り損ねたりしない？

高校への通学、総合病院への通院などに利用できるよう、それぞれのバスを時間調整し、乗り継ぎできるようにしています(※特別な事情がない限り、片方のバスの運行が遅れた場合でも、もう片方のバスが待っています)。

Q 濃飛バスが安く利用できる方法があるの？

市民を対象に発行する「市民乗車バス」を使えば、下記の利用の場合はお得に利用できます(高速バス等は除く)。濃飛バスの各窓口、市役所地域政策課・福祉課、各支所地域振興課で発行します。

①旧市町村内で乗り降りする場合→1乗車100円で利用できます。

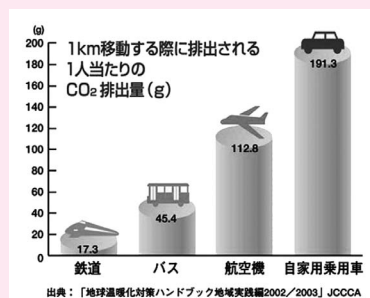
例えば、高山下呂線で石浦町から高山濃飛バスセンターまで行く場合や、朝日線で江名子町から高山濃飛バスセンターまで行く場合などにおいて、100円で利用できます。

②遠距離乗車する場合→1乗車上限1,000円で利用できます。

例えば、平湯・新穂高線で高山から平湯へ行く場合(通常1,530円)や、荘川線で高山から荘川へ行く場合(通常1,800円)などが、1,000円で利用できます。

Q バスは環境にやさしいって本当？

右のグラフは、1km移動する際に排出される1人当たりのCO₂排出量を表しています。これを見ると自家用乗用車のCO₂は191.3gで、他の交通機関に比べてかなり多いことが分かります。一方、バスは、自家用乗用車と比較して約4分の1の45.4gであり、例えば通勤手段を自家用乗用車からバスに変えることは、地球温暖化対策の一環として、とても効果的な取組みといえます。



人とのふれあい、まちのにぎわい、環境への配慮
乗ってみよう使ってみよう 私たちの公共交通